

30. 洛和会丸太町病院総合診療科

ジュニア・レジデント(初期研修医)プログラム

1. 指導責任者：上田剛士（救急・総合診療科 医長）

2. 研修期間：8週間

3. 目標

1) GIO（一般目標）

- 急性期から慢性期疾患を扱う地域の病院における内科総合診療医の役割を理解する。
- 総合診療実践のために必要とする、知識、技能、態度を習得する。

当院における、総合診療科の役割は、外来、救急診療、一般入院、集中治療の患者の管理と非常に幅広いものとなっている。8週間のローテーションの中で、それぞれの状況に適した臨床内科医としての役割を理解し、実践できることを目指す。

2) SBOs（個別目標）

- 一般内科診療でよくみられる疾患につき、診断と治療を述べることができる。
- 内科救急でよくみられる疾患につき、標準的な対処ができる。
- 集中治療室における基本的患者管理ができる。
- 外来および入院中の患者のもつ問題点を列挙し、それに対する対処を提案できる。
- 救急において、患者の重症度を短時間で評価し、迅速に適切な治療を開始できる。
- 救急において、焦点を絞った必要十分な、病歴聴取、身体診察、検査を行うことができる。
- 上級医、他科に対して効率的なプレゼンテーションを行い、適切なコンサルテーションを行える。
- 臨床上の疑問に関して、自分で調べたり、また納得がいくまで議論する。
- 要領よくまとまったカルテ、サマ리를遅滞なく記載することができる。
- 患者および家族との良好なコミュニケーションがとれる。
- レクチャー、カンファランス、勉強会に出席し、自分自身の考えを積極的に発言する。
- 実習に訪れた医学生を丁寧に指導する。
- 以下の一般内科、救急、集中治療に必要な基本的手技が行える。

- 気道確保
- 人工呼吸管理
- 気管挿管
- 心臓マッサージ
- 除細動
- ライン確保(末梢、中心静脈、動脈)
- 注射法(皮内、皮下、筋肉、静脈内)
- 採血(静脈、動脈)
- 胃管挿入
- 輸液、輸血療法
- 強心剤、昇圧剤の使用
- 血液浄化療法

3. 方略 (LS)

週間スケジュール：

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
～8:00	病棟患者診察					
8:00～8:30	教育レクチャー、症例カンファランス					
8:30～10:00	病棟チームによる回診、日中は毎日半日ずつ救急業務もある。					
10:00～12:30	病棟業務、教育レクチャー（不定期）					
12:30～13:30				退院カンファランス		
13:30～17:00頃	病棟業務、教育レクチャー（不定期）					
16:00～17:00頃	病棟チームによるカルテ回診					
17:00～	自主学習、院内行事、京都GIMカンファなど					

LS1(OJT)

- 指導医、後期研修医とともにチームの一員として、チーム全員の患者の把握を行う。
- 毎朝チーム全員で病棟回診を行う。
- 受け持ち患者の問題点についてプレゼンテーションを行い、チームで議論し方針を決定していく。
- 毎夕電子カルテを囲んでまとめの卓上回診を行う。

- 受け持ち患者の面接、身体所見、検査オーダー、処方を行う。
- 受け持ち患者のカルテ、サマリ記載を行う。
- 受け持ち患者に関する可能な限り全ての手技は上級医とともに行う。
- 日中の救急受診患者の診療を上級医とともに行う。
- 外部からの医師(大リーガー医、各専門医)の教育回診に参加しプレゼンテーションを行う。

LS2(勉強会・カンファレンス)

- 毎朝教育レクチャー、症例カンファレンスに参加する。
- 症例カンファレンスでは症例提示を行う。
- 週一回の退院カンファレンスでは、退院患者全てのプレゼンテーションを行う。
- 基本的に毎日行う、患者の問題点に基づいたミニレクチャーに参加する。
- 毎月開催される京都 GIM カンファレンスや洛和会総合診療科合同症例検討会に参加し、症例提示を担当することもある。
- 興味深い症例に関しては、学会発表を行う。

5. 評価 (EV)

- 日々の回診、診療業務、カンファで指導医が評価を行いフィードバックする。
- 自己評価および指導医による総括的評価を EPOC に記録する。